

# 「ゆずり合いにご理解を」

## 地域連携推進室の役割

海老名市を中心に、綾瀬市、座間市など県央地域の「地域医療支援病院」に認定され、同地域における2次救急患者の受け入れ機関として日々「断らない救急」に努めている海老名総合病院。その中で、今回は入院退院後の患者のあらゆる相談や支援はもとより、地域の医療機関と連携をとり、患者が安心して医療を受けられるよう医療機関や行政と患者とのパイプ役として活躍している「地域連携推進室」について取材した。

各施設へ入所・転院される患者さんを含めさまざまな「相談」を受けます。退院支援看護師は「在宅」です。退院して自宅に帰る方で、引き続きまだ介護と治療が必要な方に退院後の道筋をつける業務を行っています。

「ソーシャルワーカーの具体的な業務は」

新倉 退院にあたっての相談をメイン業務に、現在6名で対応しています。お受けする相談内容は退院に関わる金銭的な相談から、外国籍の患者さんの通訳手配まで、生活や受診に関わる相談を受けています。相談内容の8割が退院後の生活相談で、最近では在宅での生活相談が増えています。しかし転院先はなかなか増える事がないので、受け入れ先を見つけるのが難しいのが実状です。

### 相談と連携

業務内容について具体的に

池田 大きく分けて2つの業務があります。1つは地域の医療機関と円滑に「連携」しながら患者さんと医療機関との仲介役になることです。もう一つは「退院支援」で、ソーシャルワーカーと退院支援看護師という2つの職種で対応しています。ソーシャルワーカーですが、老人保健施設など

の各施設へ入所・転院される患者さんを含めさまざまな「相談」を受けます。退院支援看護師は「在宅」です。退院して自宅に帰る方で、引き続きまだ介護と治療が必要な方に退院後の道筋をつける業務を行っています。

「ソーシャルワーカーの具体的な業務は」

新倉 退院にあたっての相談をメイン業務に、現在6名で対応しています。お受けする相談内容は退院に関わる金銭的な相談から、外国籍の患者さんの通訳手配まで、生活や受診に関わる相談を受けています。相談内容の8割が退院後の生活相談で、最近では在宅での生活相談が増えています。しかし転院先はなかなか増える事がないので、受け入れ先を見つけるのが難しいのが実状です。

「退院支援看護師はどのよう業務ですか」

矢野 退院後の施設が少ないため、自宅へ帰らざるを得ない患者さん、また自宅

で最期を迎えたいと希望する患者さんがいます。私たちがそのような患者さんの在宅に向けた支援を主な業務にしています。たとえば、酸素、点滴が必要だったり、寝たきりで床ずれのある患者さんなどに、あらゆる医療処置の指導を行っています。医療依存度の高い患者さんが安心して在宅で過ごすためには訪問看護師の支援が欠かせませんので、在宅患者さんからの相談を訪問看護師と連携しながら支援調整を行っています。

「現在抱えている問題点はありますか」

池田 長期入院です。そしてそれに伴って退院・転院への調整、その先の医療機関の圧倒的な数の不足です。急性期の治療が終わった患者さんの今後の行き先がなかなか見つからないためベッドが空かず、救急車の受け入れを断らざるを得ない場面があるのです。そうかといって在宅治療が十分に行われるだけの訪問医が揃っていないのも実状です。現在当院平均の在院期間は13日。しかし転院の調整に2カ月を要するケースもあります。もしその時間を短縮できればその間に救急患者さんを4・5人救える計算になります。もちろん当院では入院患者さん一番良い環境で退院・転院して欲しいのですが、金銭面、医療体制などのも含め限られた医療資源でどう



左から医療ソーシャルワーカー新倉絵里子主任、推進室野口順子主任、池田弘室長、矢野明美看護係長、田所浩副室長（総合内科医長）

「ほかにはどのようなことが行われているのですか」

野口 外来の予約や救急患者の受け入れ依頼への対応のほか、当院が保有している高機能の検査機器、CTやMRI、マンモグラフィなどを地域の医療機関の医師にも利用して頂いているので、その検査予約などでの考えから市民向けの健康講座を開催しています。この講座はこれまで16回の開催で約700人を超え、皆様にご参加を頂いています。

「田所先生は推進室ではどのような役割なのですか」

田所 今年から推進室に加入しました。推進室が行う業務の中で、さまざまな場面で医師として表に立つたほうが話がスムーズに進むであろうと思われるときや、医師同士のほうが良い場合の時の補佐役として加わっています。また問題点などをピックアップして、改善することで患者さんのためになる推進室作りの方向づけを行っています。

池田 現在入院退院支援センター（仮称）の開設を進めているところです。これは入院退院をコントロールし、医師、看護師、ソーシャルワーカーが連携して患者さんのスムーズな退院を促し、ストレスのない本当に必要な医療の提供を目指していきます。

田所 わからないことや不安なことがあれば早めに直接窓口へご相談ください。ソーシャルワーカーが情報提供など対応させていただきます。

「今後の取り組みについてお聞かせください」

新倉 介護保険制度がどういったものなのか、どのようなサービスが受けられるのかなども含めて事前に知っておくといざという時に慌てずに済みます。そういったご相談にも対応できまうのでお気軽にご相談ください。

「読者の方へ」

一同 これを機に地域連携推進室を利用していただき。また皆さまが幸せになるためにも、海老名を中心とした地域の救急医療を守るためにも現在おかれている当院の現状にご理解とご協力をお願いいたします。

### 救える命を増やすために

「ほかにはどのようなことが行われているのですか」

野口 外来の予約や救急患者の受け入れ依頼への対応のほか、当院が保有している高機能の検査機器、CTやMRI、マンモグラフィなどを地域の医療機関の医師にも利用して頂いているので、その検査予約などでの考えから市民向けの健康講座を開催しています。この講座はこれまで16回の開催で約700人を超え、皆様にご参加を頂いています。

「田所先生は推進室ではどのような役割なのですか」

田所 今年から推進室に加入しました。推進室が行う業務の中で、さまざまな場面で医師として表に立つたほうが話がスムーズに進むであろうと思われるときや、医師同士のほうが良い場合の時の補佐役として加わっています。また問題点などをピックアップして、改善することで患者さんのためになる推進室作りの方向づけを行っています。

池田 現在入院退院支援センター（仮称）の開設を進めているところです。これは入院退院をコントロールし、医師、看護師、ソーシャルワーカーが連携して患者さんのスムーズな退院を促し、ストレスのない本当に必要な医療の提供を目指していきます。

田所 わからないことや不安なことがあれば早めに直接窓口へご相談ください。ソーシャルワーカーが情報提供など対応させていただきます。

「今後の取り組みについてお聞かせください」

新倉 介護保険制度がどういったものなのか、どのようなサービスが受けられるのかなども含めて事前に知っておくといざという時に慌てずに済みます。そういったご相談にも対応できまうのでお気軽にご相談ください。

「読者の方へ」

一同 これを機に地域連携推進室を利用していただき。また皆さまが幸せになるためにも、海老名を中心とした地域の救急医療を守るためにも現在おかれている当院の現状にご理解とご協力をお願いいたします。

「今後の取り組みについてお聞かせください」

「今後の取り組みについてお聞かせください」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「今後の取り組みについてお聞かせください」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「今後の取り組みについてお聞かせください」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「今後の取り組みについてお聞かせください」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

「読者の方へ」

コールセンター(予約専用)  
 ☎046(234)6529 www.jinai.jp  
 海老名市河原口1320  
 平日 8:30~17:00 / 土 8:30~12:00



JAPAN MEDICAL ALLIANCE  
 社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス  
**海老名総合病院**